3000人の楽しい町
町報こうふ
KOFU
No.609
2021
12月

あまくて、おいしい（^ω^）
江府町産のみかんがとれたよー🍊

動画で町報こうふ!
URL:https://www.youtube.com/user/townkofu

江府小学校２年生みかん狩り体験（令和３年１１月２４日撮影）

除雪作業にご理解とご協力を

今年も雪が降る季節が近づいてきました。町では、みなさんの快適なくらしを守るため、きめ細かな除雪に努めます。スムーズな除雪作業を行うためには町民のみなさんのご理解とご協力が必要です。一人ひとりが生活や交通のルールとマナーを守り、安全な冬をすごしましょう。

残雪処理にご協力を！

除雪車が通った後、玄関先等に除雪した雪が残ることがあります。除雪車は限られた時間で広い範囲を除雪しなければなりません。玄関先や車庫前などは各家庭で除雪をお願いします。また、防火水槽等の消防設備やごみ集積場の周りも集落のみなさんで除雪をお願いします。

路上付近の駐車は止めましょう！

路上や歩道に車両が駐車されていると除雪作業ができません。救急車など緊急車両の通行の妨げにもなりますので、路上付近の駐車は絶対にしないでください。

除雪車に近づかないで！

作業中の除雪車に近づくことは大変危険です。運転席から見えないこともあります。絶対に近づかないでください。

路面状況に応じた運転を！

気象や路面状況に応じた安全運転を心がけてください。特に日陰やカーブ、橋の上、下り坂などは注意し、時間に余裕をもって運転しましょう。

【歩行型除雪機は、正しく安全に使いましょう】

近年、自宅周辺等の除雪に歩行型除雪機を利用する人が増えています。作業を行う前に取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。また、機械を使う時は、正しく安全に作業しましょう。

・雪詰まりを取り除くときは必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから雪かき棒を使って作業しましょう。

・作業する際は、転倒したり挟まれたりしないよう、足元や後方の障害物に十分注意しましょう。

・作業中は、雪を飛ばす方向に人や車がないことを確認し、除雪機の回りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

■吉原御机線（須郷～御机間）は冬季閉鎖します。ご理解とご協力をお願いします。

■除雪業務関係者のみなさんは、いつ降るかもしれない雪に備え、昼夜関係なく過酷な業務に就いています。町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

水道管の凍結防止について

ますます、寒さが厳しくなる季節がやってきます。気温が氷点下になると、水道管の凍結による破損で、漏水する事があります。凍結防止として、予防策を実施しましょう。

【予防策】

屋外等にある水道管にタオルを巻き外気に触れないようにして下さい。

【「漏水かな？」と思われたら】

水道メーターが、使用していない状態で回っている場合は、漏水の可能性があります。「漏水かな？」と思われたら、江府町役場産業建設課にお問い合せください。無料で調査を行います。

【問い合わせ】

除雪（県道を含む）、水道に関すること･･･江府町役場産業建設課　（電話：0859-75-3306）

雪害への備えや、相談などに関すること･･･江府町役場総務課　（電話：0859-75-2211）

－特集－

白熱、中学生議会

▲江府中学校３年生のみなさんと町関係者やサポーターのみなさん

「中学生議会」が１１月１１日（木）、江府町役場議場で開催されました。
アントレプレナーシップ・スクールによる現在の「中学生議会」も、今年で４年目。
江府中学校３年生１６名は４つのグループごとに、
自分たちで考えあげたアイデアを、
町執行部へ提案しました。

まちのニーズをしっかりと自分ごととしてとらえられるか―。

今月号の特集は、白熱した中学生議会を取り上げます。

４班インタビュー

サントリー天然水
奥大山ブナの森工場
西田 絢臨 さん

３班インタビュー

江府町役場
住民課
平林 知紘 さん

２班インタビュー

ＮＰＯ法人
こうふのたより
末次 多衣子 さん

１班インタビュー

奥大山の
水洗い珈琲
遠藤　明宏さん

■アントレプレナーシップ・スクール事業をいかして

これからの時代は、地元で暮らすための仕事を自らがつくっていくものであり、自らの生き方を見つけられることが重要であると考えられます。これらの力を子どもたちが得るための教育（アントレプレナーシップ教育）を江府中学校で進めています。

この事業では、一般社団法人i.clubの協力のもと、中学生が地元を舞台にイノベーション（未来をつくるアイデア）に挑む教育プログラムに取り組んでいます。イノベーションにチャレンジするので、「イノチャレ」です。

また、ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）を実現することが広く求められています。江府中学校３年生は、１学期から、江府町でのＳＤＧｓをどのようにすれば実現できるのかを、国際協力機構（ＪＩＣＡ）の職員や江府町役場職員を招いて話を聴き、しっかりと考えてきました。

それにより、「私たちのアイデアでワクワクする江府町の未来をつくろう」という一貫したテーマの下、ＳＤＧｓの視点で江府町を見つめることから学習を始めました。そして、江府町の魅力を発見し、それを活かして町内で活躍されている方へインタビューしたことを基にしながら、江府町の未来について考える学習活動に取り組みました。

９月中旬の２日間、中学生議会に向けて、合計２１時間もの時間を要し集中的に検討を重ねました。そして、「くらし」「お宝」の２つのテーマで、４つの班ごとに、「自分たちがワクワクする江府町の未来をつくるアイデア」を創造し、中学生議会で提案することにしました。

▲メンターがスキットの手本を熱演

【今年度のメンター】

教育課（現：総務課）	藤原　奏
総務課（現：住民課）	橋谷　遼
福祉保健課	宮脇　圭子
産業建設課	梅林　耕基

■中学生議会、開幕！

９月に練り上げたアイデアについて、どのように表現すれば議会でよりよくわかってもらえるかについて、検討と工夫を重ねていきました。

そして、言葉だけの提案ではなく、スキット（寸劇）を行い、自分たちの考えたアイデアのない未来と、そのアイデアが実現した未来とではどのように違うかを表現することにしました。

「自分たちがワクワクする江府町の未来をつくるアイデア」は、江府町の誰もがワクワクする未来につながっていくと思います。

これから江府中学校３年生の若い議員たちが考えた新鮮な提案をご紹介します。

▲中学生議会の開幕を待つ生徒の様子

1班

アイデア名

あっとほ～む

質問者
澤田 望乃香 議員

問	答
江府町の魅力が分かり、学生たちが気軽に集まることができるためのカフェをつくってみてはどうか。	検討中の生涯学習施設や新たに建設予定の商業施設に、アイデアを盛り込んでみてはどうか。

質問 私たちが提案するアイデア名は「あっとほ～む」です。これは、「学生が気軽に集まることができ、江府町の良さを再発見することができる町」という未来をつくるために、「みんなが気軽に集まれる場所をつくる」というアイデアです。

町で活躍されている方へのインタビューを通じて「生活の中で自然を感じながら趣味を仕事にされている」ということに気づきました。そこで私たちは「魅力がないなら、自分たちでカフェをつくっちゃおー！！」と考えました。

イチオシポイントは、「学生が気軽に行ける！集まるだけでなく食事や勉強ができる！というところ」です。この「あっとほ～む」という案はいかがでしょうか。

答弁 「魅力がないなら、自分たちでつくる」というアイデアはとても良いと思います。

町では現在、江府町防災・情報センターを生涯学習施設にするための検討をしていますので、このアイデアをぜひみなさんからご提案いただければと思います。

また、町では現在、佐川地区に新たに商業施設の建設を予定していますが、こういったカフェテリアのアイデアを盛り込んでみてはどうかなと思います。

▲１班の発表の様子

2班

アイデア名

空き家 ピカピカ大作戦 with 移住者

質問者
塩見 丸子 議員

問	答
町の空き家問題に対して、移住者と一緒になって空き家を綺麗にするイベントをしてみてはどうか。	「仲間づくり」を住む以前に始めていくのはとても良いアイデア。ぜひ、実現してほしい。

質問 私たちが提案するアイデアは「空き家ピカピカ大作戦ｗｉｔｈ移住者」です。これは、「町の人々が『空き家はきれいにするもの』という意識をもつ」という未来をつくるために、「町民と移住者が一緒になって楽しく空き家をきれいにする」というアイデアです。

町で活躍されている方へのインタビューを通じて、「状態の良い空き家が少ない」ということに気づきました。

このアイデアのイチオシポイントは「町の人々が、移住者の人々と仲良くなりながら、一緒になって楽しく空き家の片付けができるところ」です。この「空き家ピカピカ大作戦ｗｉｔｈ移住者」という案はいかがでしょうか。

答弁 過去の中学生議会でも「空き家」を質問されたことが結構ありましたように、「空き家」は町にとって大きな問題となっています。今回のご提案は「移住者と一緒になって空き家をきれいにする」というところが、これまでとはちょっと違うところでした。特に、「仲間づくり」が、住む以前から始まっているところが良いところだなと思います。

ぜひ、こういったアイデアを実現していただきたいなと思います。

▲２班の発表の様子

＼３班／

アイデア名

キャンプ with 水

質問者
藤原 直士 議員

問	答
江府町の水を使ったキャンプをすることで、ふるさと納税を通した来町へつながるのでは。	ふるさと納税は町にとって貴重な財源。商品だけではなく、来町へつながる良いアイデア。

質問 私たちが提案するアイデア名は「キャンプwith水」です。これは、「ふるさと納税を通して、江府町に来てもらう」という未来をつくるために、「江府町の水をふんだんに使ったキャンプを実行する」というアイデアです。

町のふるさと納税担当の方へのインタビューを通じて「都会の人は水を買って飲んでいること、江府町のふるさと納税の返礼品は水が1番人気」ということに気づきました。

このアイデアのイチオシポイントは、「キャンプ場で江府町ならではの自然豊かな体験をすることで、江府町の水をたくさん味わえ、納税につなげられるところ」です。この「キャンプwith水」という案はいかがでしょうか。

答弁 江府町のふるさと納税は昨年から大幅に増加し、今年は昨年よりもさらに増加する見通しです。ふるさと納税の財源によって、町では様々な自然環境保護活動を実践することができます。今回ご提案いただいたアイデアも、水を通したふるさと納税に対するものでした。「商品」だけを売るのではなく、「キャンプ」といった直接町に来ていただく体験はとても有効だと思います。サイクリングと合わせるのも良いと思います。

▲３班の発表の様子

＼４班／

アイデア名

アクティブナ森

質問者
森田 羚那 議員

問	答
ブナの森を身近に感じるために、江府町の自然を感じられるイベントをしてみてはどうか。	来年４月開校の奥大山江府学園の学習の一環として、参考にしながら計画していきたい。

質問 私たちが提案するアイデア名は「アクティブナ森」です。これは、「ブナの森を身近に感じられる」という未来をつくるために、「イベントを通して自然を味わう」というアイデアです。

町で活躍されている方へのインタビューを通じて「ブナの森の保全や『森と水の学校』など地域への活動をしている」ということに気づきました。

このアイデアのイチオシポイントは、「遠くで感じていたブナの森を近くに感じられたり、江府町の自然を感じることができるところ」です。この「アクティブナ森」という案はいかがでしょうか。

答弁 「ブナ」の木は「町の木」でもあり、町では小学校で「ブナの森プロジェクト」や「森と水の学校」などを通じて、ブナの森と触れ合う機会を設けてきました。

また、来年４月からは奥大山江府学園が開校しますが、校舎の一つは「ブナの森校舎」と名付けられました。「ブナ」の木は保水性も高く、水とゆかりをもつ江府町を象徴するようなシンボルとなっています。

奥大山江府学園ではふるさとについての学習を計画していますので、ご提案いただいたアイデアもぜひ参考にしていきたいです。

▲４班の発表の様子

■中学生の振り返り

Qイノチャレに参加する「前」と「後」で、どのような変化がありましたか？

Aアイデアを考え、より深く工夫する楽しさを感じられました。答えのない問題と向き合う中でメンターさんに深堀して理由を探す大切さを教わったからです。

※メンター：生徒の学びをサポートする役割。今回は役場職員4人とi.club4人が役割分担して当たりました。

A最初は「自分がそんないいアイデアを思いつくことなど無理」と思っていたけれど、チームの仲間といっぱい話して、なかなか良いアイデアを出すことができたので楽しかった。

Aイノチャレに参加してよかったです。アイデアを出す脳をたくさん刺激されたからです。

A地元にもっと興味をもつようになりました。イノチャレで江府町について知れたし、江府町のいいところが分かりました。

Aイノチャレに参加して、もっと自分の生まれ育った江府町のために何かしたいと思えるようになりました。それは、イノチャレを通して江府町のよさが見つけられたからです。

Aイノベーションにチャレンジしていく大切さを学びました。自分たちで考えて江府町のこれからを考えることができました。

A私は江府町に魅力が少なく、明るい未来は実現できないと思っていたけれど、イノチャレに参加して、江府町には誇れる特色や魅力があって、ふるさと江府町に自信をもてるようになりました。

A意見をどのように相手に伝えるかが大切だと発見しました。中学生議会で相手にどう伝えるか、どんな印象を与えるかが大事だと思いました。

Qあなたにとって、「イノチャレ」とは？

A「イメージをたくさん出すところ」です。みんなで話し合い、イメージとアイデアを出したからです。

A「地元の魅力や自分らしさの再発見」です。自分の班のアイデア以外にも、他の班の人のアイデアやメンターさんの考えから、「江府町の魅力」や「自分らしさ」を見つけられました。

A「自分の町のよさについて知れると同時に仲間と協力できる場」です。自分たちが住んでいる町について、仲間と一緒に考えることができるからです。

A「チャレンジ」です。イノベーションをしているときはうまくいかないこともあったけれど、チャレンジすることで、いいプレゼンができたからです。

A「自分や町の問題を見つめるキッカケ」です。実際にあまり考えてこなかった「空き家」という問題にしっかり向き合うきっかけになったからです。

A「江府町の魅力を知る機会」です。今まで興味や関心がなかったことにも目を向けることができたからです。

A「コミュニケーションをとったり、みんなで話し合ったりしながら、社会でも使える力を身につける場」です。

A「自分や友達の言葉を広げる場」です。

▲i.clubとのイノチャレ修了式
生徒が手に持っているのは「イノチャレ修了証」です。

■江府中学校長より

中学生議会は六回目、アントレプレナーシップ・スクール事業としては四回目となります。今年度も町活性化のアイデア創りという正解のない課題に取り組み、ワクワクする提言をまとめることができました。江府町で生き生きと活躍されている多くの大人の方と出会えたことも、かけがえのないものとなりました。

未来を創るアイデアを出す手法を学び、苦しみながらもメンバーと協力し、意見を出し合いまとめあげていく姿は頼もしく、ゴールである中学生議会では、やりきったという達成感に満ち溢れていました。

今後もこの取り組みをさらに充実させ、ふるさと江府町の未来を担う人材を育成していきたいと思います。

▲江府中学校
竹内 貴美 校長

秋晴れの下、遠藤堅一さんが接戦を制し３連覇

10/24

「江府町グラウンド・ゴルフ秋季大会」が１０月２４日(日)、江府町せせらぎ公園で開催されました。秋晴れの下、選手のみなさんは日頃の練習の成果を十二分に発揮され、遠藤堅一さんが見事３年連続５度目の優勝の栄冠を手にされました。結果は以下の通りです。

【結果】

優　勝　　遠藤 堅一さん（３９打）
準優勝　　遠藤　 功さん（４０打）
第３位　　赤井 市郎さん（４１打）

▲上位成績のみなさん

10/24 明道児童館のグラウンド全面芝生化を記念して

▲真新しい芝生の上でプレーする様子

本町五丁目集会所主催「第５回グラウンド・ゴルフ大会」が１０月２４日（日）、明道児童館グラウンドで開催されました。この大会は集落の方々の健康と生きがいを目的として行われており、様々な年代の方々が参加されました。また、大会前には、グラウンドが全面芝生化となったことを記念して、式典を執り行いました。参加者は、家族や知り合いから応援を受けながら、用意された温かい飲み物を口にしつつ、整備された芝生でグラウンド・ゴルフを満喫しました。

空場さん（小江尾）が中国防犯功労者表彰を受賞

10/26

空場語さん（小江尾）が「令和３年度中国防犯功労者表彰」を受賞され、１０月２６日（火）に黒坂警察署で表彰式が行われました。空場さんは１０数年前から通学路の立番などを続けられ、地域の見守り活動に尽力されてこられました。その功労を称え、黒坂警察署砂澤俊吾署長から表彰状が授与されました。空場さんは「安心・安全な町づくりのために、地域の見守り活動を続けてきました。これからも、体力が続く限り続けていきたいと思います」と述べられました。

▲受賞された空場さん（写真左）

10/27 令和３年度江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭

▲慰霊祭の様子

「令和３年度江府町戦没者並びに殉職者慰霊祭」を１０月２７日（水）、江府町慰霊塔前で執り行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため規模を縮小し、江府町遺族会役員に代表して参列いただきました。当日は、戦争で尊い犠牲となられた方々の霊を慰め、これからも平和で豊かな社会となるように、黙とうを捧げ、一人ひとり白と黄色の菊の花を手向けました。遺族会を代表し藤原成雄さんは「遺族会で相談し、このような形でも式を執り行えたことに感謝いたします」と述べられました。

11/7 第６０回江府町卓球大会（地域の部）

▲新町1丁目Aチームのみなさん

「第６０回江府町卓球大会（地域の部）」が１１月７日（日）、江府町運動公園総合体育館で開催されました。団体の部、各個人の部ともに白熱した試合が繰り広げられました。結果は以下の通りです。

【結果】

団体の部	優勝	新町１丁目Ａ
シングルスフリーの部	優勝	下原 佑太さん
男子成年の部	優勝	野口 信也さん
女子の部	優勝	上代 彩乃さん

自主制作防災啓発動画を給食の時間に視聴 11/10

全国一斉火災予防運動の一環として、江府消防署員の自主制作による防災啓発動画の視聴が１１月１０日（水）、江府中学校２年生教室で行われました。動画は人気アニメ「東京リベンジャーズ」をヒントに、同署の署員が台本づくりから撮影、出演まですべて手作りで制作。同署予防担当の岡浩輝署長補佐は「住宅用火災警報器の設置の必要性をわかりやすく伝えるために制作しました。ぜひ、ご家族のみなさんにも必要性をお伝えいただければと思います」と述べられました。

▲自主制作動画を視聴する様子

11/14 江府町交通安全指導員がカーブミラー清掃を実施！

▲カーブミラーの掃除の様子

町の交通安全指導員のみなさんが１１月１４日（日）、町内でカーブミラーの清掃と交通安全設備の不備や破損を確認するボランティア活動を行いました。今年は、江尾・久連・美女石地区のカーブミラーを、長く使用できるようひとつひとつ丁寧に清掃しました。江府町内において交通死亡事故０日数は３，３００日を超えました。今後も町民のみなさまにおかれましては、安全運転・安全確認など交通安全に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

本格的な冬のシーズンにむけて、操作の講習 11/19

「小型除雪機操作講習会」を１１月１９日（金）、江府町防災基地で行いました。町の作業員や集落除雪を実施している集落の方などを対象に実施され、２０名が参加しました。参加者は、県日野振興センター日野県土整備局維持管理課大塚秀二担当者より機械の点検整備のポイントなどについて説明があった後、小型除雪機の操作についての講習を受けました。本格的な冬のシーズンにむけて参加者のみなさんは、あらためて安全な操作手順について確認をしていきました。

▲県担当者から説明を受ける様子

ほけレポ

保健レポート vol.21
～“まめ”にいかいや！江府町～

・まめ＝元気という意味。
・保健師、栄養士、健康運動指導士が毎月、いのちと健康を守るための情報をお届けします。

みなさん、こんにちは。

今回のほけレポのテーマは、**「こころの健康」**についてです。

近年、こころの病気になる人が急増しており、国内の患者数は４００万人以上に及んでいます。コロナ禍の自粛生活にも慣れてきたと思いますが、長期化し、ストレスに感じている部分もあるのではないでしょうか。

メンタルヘルス不調とは？

メンタルヘルスとは「心の健康状態」をあらわす言葉で、厚生労働省は、メンタルヘルスの不調をこのように定義しています。

〝精神および行動の障害に分類される精神障害や自殺のみならず、ストレスや強い悩み、不安など、労働者の心身の健康、社会生活および生活の質に影響を与える可能性のある精神的および行動上の問題を幅広く含むものをいう〟

引用：労働者の心の健康の保持増進のための指針

メンタルヘルス不調というと、うつ病や適応障害などの精神疾患をイメージするかもしれませんが、ストレスや強い悩み、不安感といった病名が付かない精神状態も含まれています。

メンタルヘルス不調のサイン

最近、自分や周りの人に対して、このようなことを感じることはないでしょうか。「食欲が減った」、「元気がなくなった」、「口数が減った」、「趣味に興味を示さなくなった」、「ため息が多い」、「眠れていない」など。これらは、こころの不調によって、今までの行動と違った様子として現れてきます。こころの病気は、自分では症状に気づきにくいのも大きな特徴です。皆さんの周囲に、以前と比べて様子が異なっている方はいませんか。気になる症状が長く続いたり、生活面での支障が出てきている場合には、早めに相談されることをお勧めします。

からだの面	・なかなか眠れない　・疲れがとれない ・下痢や便秘が続く　・頭や肩、首が重い ・食欲や体重の増減があった
こころの面	・焦りや不安を感じる　・イライラする ・気分が落ち込んでいる　・落ち着かない ・何事にも悲観的になる、おっくうに感じる
行動の面	・口数が減る ・悲観的や否定的な発言が増える ・人との接触を避けるようになった

ご家族や身近な人ができること

不安やストレスを感じている人にとって、ご家族のあたたかい見守りや言葉かけは大きな支えになります。

【気づく】

いつもと違う様子や本人のＳＯＳにいち早く気づくことができるのも、ご家族や身近な方だと思います。

【話を聴く】

いつもと違う様子に気づいたら、「そんなことはない」などと否定せずに、まずはご本人が一番言いたいことは何かを理解しようという姿勢でゆっくりと耳を傾けてみてください。ただし、ご本人があまり語りたがらない時は、無理強いはせず、「話したくなったら」というお気持ちを伝えて待ってみましょう。

【安心できる環境をつくる】

言葉だけでなくさりげない気遣いなどが、苦しむご本人に安心感を与え、病気への発展を防止するだけでなく、回復力を促すことにもつながります。

【相談する】

ひとりや家族だけで抱え込まず、お気軽にご相談ください。

「こころの健康」については、以下へお問い合わせください。
【問い合わせ】
江府町役場福祉保健課
（担当）中川
電話：0859-75-6111

白石町長コラム Vol.64

「不易流行」

～よき伝統を守りながら（不易）
進歩に目を閉ざさないこと（流行）によって
「理想」を創造する～

後世畏るべし

11月7日（日）、日野町文化センター「森の音楽隊」で、第50回江府中学校吹奏楽部定期演奏会が開催されました。会場には第1回定期演奏会を実行された、当時の顧問である田口立身先生も来られており、懐かしいお話を伺うこともできました。

演奏は、ソロやアンサンブルもあり、また、演目には演歌を始め、耳にしたことのある曲も多く、吹奏楽の魅力を感じることができました。特に、今年の吹奏楽コンクールで演奏された「元禄」という曲はとても素晴らしく、さすが鳥取県3位の実力と納得できました。

最後の曲をバックに、部長の塩見さんが「聴きに来て良かったと思える演奏を心がけている」と話したのが印象的でした。そして、後輩たちに「自分たちの音楽を」と贈ったエールも。アンコールは江府中学校校歌。再アンコールはふるさと。

人数は少ないけれど、全員が堂々とした素晴らしい演奏ができていました。どこに出しても恥ずかしくない、江府町の誇りとして胸を張れる、そんな演奏会でした。

私も江府中学校時代、吹奏楽部員としてトランペットを担当していましたが、ハイレベルな後輩たちの演奏を聴いて、「後生畏るべし」（若い者は、将来、どこまで伸びていくかわからないほどの可能性に満ちている）という言葉が頭に浮かびました。

▲田口立身先生と記念撮影

これまでのコラムはこちら!
これまでのコラムはQRコードを読み取ることでご覧いただけます。

誰でも見れるライブ配信企画「町長オンライン座談会 Vol.7」を配信します！！

町では今年度、ユーチューブを活用したライブ配信「町長オンライン座談会」を実施しておりますが、新たなテーマのもと第７回目の開催が決まりました。インターネットが利用できるスマートフォンやタブレット、パソコンなどから、誰でも、どこでも視聴することができます。また、配信後はアーカイブで再配信も行います。ぜひご視聴ください。

【第７回座談会テーマ「ツナグ、オンライン！！江府町ふるさと大使」】

配信予定日　１２月１８日（土）１０：００～１１：００（予定）
出演者　白石町長、江府町ふるさと大使　谷口　宗一郎さん（江府町出身、愛媛県在住）、
江府町ふるさと大使　水口　智恵美さん（江府町出身、兵庫県在住）、
江府町ふるさと大使　水口　美紀さん（兵庫県在住）、
役場総務課 主任 梅林 徹（司会）

インターネットが利用できるスマートフォンやタブレット、パソコンから、江府町公式ユーチューブチャンネルにアクセスし、「町長オンライン座談会」ライブ配信を、配信予定日当日にご視聴ください。また、町ホームページ専用ページからもアクセスすることができます。詳しくは右下のＱＲコードからアクセスしてください。

ホームページはこちらの QR コードからアクセスできます。

【視聴にかかる費用】
無料（※ただし、通信料は回線ごとの負担となります）

第７回目以降の座談会について
テーマや配信予定日は未定ですが、現在町が抱える課題などについて、専門的なゲストスピーカーとのトークセッションを随時配信していく予定です。（※開催が決まり次第、町ホームページ専用ページでご案内します）

【「町長オンライン座談会」の問い合わせ】江府町役場総務課　電話：０８５９－７５－２２１１

10/30 令和３年度江府中学校日輪祭

「令和３年度江府中学校日輪祭」が１０月３０日（土）に開催されました。今年のスローガンは「青春謳歌」。午前中は校内で弁論発表、学年発表、有志発表、執行部企画などが行われ、午後は町体育館で下蚊屋荒神神楽上演や、吹奏楽部演奏、全校合唱が行われました。（※スペースの都合上一部のみ掲載しています）

弁論発表（人権）

▲１年生学年発表
学年劇「ジグソー」

▲２年生学年発表
学年劇「コレクション」

▲３年生学年発表
学年劇「鬼平あらわる！」

▲全校合唱

▲吹奏楽部演奏

▲下蚊屋荒神神楽の上演

1

令和３年度江府小学校学習発表会 11/6

「令和３年度江府小学校学習発表会」が１１月６日（土）に開催されました。今年のスローガンは「一劇入魂～江府小最後の学習発表会 魅せろ９１人のパワー～」。児童は、スローガンのとおり一つひとつの劇や合奏に魂を入れ、日頃練習した成果をしっかりと披露しました。（※スペースの都合上一部のみ掲載しています）

2

3

4

5

6

7

1_合奏「曲目：やってみよう」（５・６年） 2_劇「サラダでげんき」（１年） 3_劇「お手紙」（２年） 4_ミュージカル「いなかのねずみと町のねずみ」（３年）
5_劇「何でも引き受け株式会社」（４年） 6_エンターテイメント「ロック・ラップ・クラドゥ！」（５年） 7_劇「走れメロス」（６年）

▲展示作品を鑑賞する来館者の様子

▲公民館講座いけばな

▲公民館講座油絵

▲発表の部（団体の部）：アイリス合唱団

▲発表の部（団体の部）：ストリートダンス

▲社会福祉協議会こどもサロン

▲発表の部（団体の部）：新舞踊

▲発表の部（個人の部）：フルート演奏

▲文化財コーナー

10/30～11/7

令和３年度江府町文化祭

「令和３年度江府町文化祭」を１０月３０日（土）から１１月７日（日）に開催しました。展示の部は江府町防災・情報センターと江府町役場本庁舎で開催し、各種公民館講座や団体作品など、たくさんの力作が展示されました。また、舞台発表は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合型の発表ではなく、事前に収録したものが期間中、江府町防災・情報センターや江府町役場本庁舎、江尾診療所で放映されたほか、ユーチューブでも配信が行われました。（※スペースの都合上一部のみ掲載しています）

石原忠哉さん（新道）が町へ武庫駅の写真を寄贈

新道在住の石原忠哉さんが、令和３年度江府町文化祭特設コーナーの「武庫駅６０年記念写真展」で飾られた写真１９点を町へ寄贈されました。石原さんが１９６１年に武庫駅が開設されるまでの工事現場の様子や開設当日の武庫駅の様子を撮られたもので、今年行われた武庫駅６０周年のイベントでは、石原さんから武庫の万福寺で武庫駅の当時の様子について語られました。

寄贈された写真は武庫駅の開設当時が分かる貴重な記録資料として、町で大切に保管し、今後もイベントなどで展示していきます。

▲寄贈いただいた写真の一部

10/30～11/7

令和３年度江府町図書館まつり

▲井上さんによる講演の様子

「令和３年度江府町図書館まつり」を１０月３０日（土）から１１月７日（日）、江府町防災・情報センターで行いました。１１月３日（火・祝）には、今年「木地師と江府町」を出版された井上裕吉さん（荒田）を講師に招き講演会を開催しました。

現在のように機械化によって大量生産する時代が訪れる以前には、限られたエリアの中で原材料から加工に使う道具、専門的な知識や技能を維持・継承する環境が必要であり、轆轤（ろくろ）を使って木材から生活必需品を作り出す木地師はまさにそのような環境に支えられた技術者集団で、全国的な広いネットワークを築きながら長く庶民の生活を支えてきました。

かつて江府町にも下蚊屋、御机にそのような技術者が暮らし、大変有名な地域として知られていたそうです。井上さんは時の流れとともに埋もれていこうとする「町の宝」に再び光を当ててくださいました。質疑の時間にはたくさんの方から質問や感想が出され、充実した講演会になりました。

町内の文化財のご紹介

今回は県の文化財に指定されている「武庫の七色ガシ」を紹介します。

武庫の七色ガシは、樹齢推定300年以上、樹高18mのカシの木です。一年を通して葉の色を変える特徴を持ち、4月頃から、「紫」、「黄」、「だいだい」、「白」、「赤」、「緑」、そして9月下旬から翌年までは「青黒」と変化します。原因は、日光に対する保護作用によるものと考えられていますが、詳しくは分かっていません。また、この木の種を蒔いても同じ木にはならないと言われています。

今年の5月頃から樹体が弱っており、今後、クラウドファンディング等を活用し、治療を目指します。詳しくは、江府町教育委員会事務局（電話：0859-75-2223）へお問い合わせください。

登録日：昭和8年3月30日
所在地：江府町武庫

▲武庫の七色ガシ
（11月頃撮影）

江戸時代の鉄山師「下原重仲」の謎に迫る

11/21

没後200年となる「鉄山秘書」の著者、下原重仲の生涯の謎に迫る「恭敬フォーラム」が11月21日（日）、江府町役場本庁舎2階多目的室で開催されました。江府町文化協会と伯耆国たたら顕彰会が主催し、共同で企画。午前は重仲の墓所や町内に残るゆかりの地を巡見しながら、足跡をたどりました。午後に行われたフォーラムでは、島根県古代文化センター長角田徳幸さんを講師にむかえ、「鉄山秘書と下原重仲」と題し基調講演が行われたほか、4人の専門家によるパネルディスカッションも行われました。会場には県内外から約60人が参加し、聴講しました。

▲基調講演の様子

日野高ニュース

日野郡の最高学府として、地域と連携・協働した教育活動を推進する「日野高校」。町では日野高校魅力向上推進協議会の一員として、「日野高校」の地域活動の取り組みを「日野高ニュース」として紹介していきます。

10/26 「手話講習会」を開催しました！

2年次生「社会福祉基礎」の授業で「手話講習会」を開催しました。様々な場面での手話について学び、生徒は手話への興味が大きくなったようでした。

生徒から「手話にも一つ一つ意味があるということがわかった」、「災害の時など、近所の聴覚障がいの方を訪ね、一緒に避難する」、「聴覚障がいの方は手話以外に筆談や指文字、表情、ジェスチャーなど様々なコミュニケーション方法があることがわかった」などの感想がありました。手話を使って少しでもコミュニケーションができるように、今後の授業で取り組んでいきたいと思います。

▲手話講習会の様子

トム先生の「TOM'S TOPIC」15

トム先生の動画はこちらから

Bonfire night

Bonfire night, is a festival celebrated in England on November 5th each year. It commemorates the failed “gunpowder plot” where a group of Catholics, led by a man called Guyfawkes, tried to blow up the Houses of Parliament on November 5th 1605 in an attempt to assassinate the Protestant King James 1st.

When I was growing up there was also the tradition of “a penny for the guy” , where children would make Guy Fawkes dolls from old clothes stuffed with newspaper (to be, rather gruesomely, burned a top the bonfire) and go around the neighborhood from house to house collecting money for fireworks. However, this tradition has not been common for many years. Fireworks in England are only sold to the public for 2 or 3 weeks before Bonfire Night, and although still popular, as people have become more safety conscious about the dangers of fireworks, there has been a move in recent years to people attending organized displays were the fireworks are let off by professionals. People that still make their own bonfires often wrap jack potatoes in foil and put them in the bonfire to cook.

ボンファイヤー・ナイト

Bonfire night（たき火の夜）は、イギリスで毎年１１月５日に開催されるお祭りです。これは、１６０５年１１月５日にガイ・フォークスと呼ばれる人物に率いられたカトリック教徒のグループがジェームズ１世を暗殺するために国会議事堂を爆破しようとした「火薬の陰謀」が失敗し、国王が助かったことを記念するものです。

私が子供の頃は、"A Penny for the Guy "（ガイに１ペニーちょうだい）という風習がありました。子供たちは、古着に新聞紙を詰めてガイ・フォークス人形を作り、焚き火の上で燃やすために、近所の家々を回って花火代を集めていました。しかし、この習慣はもう何年も行われていません。イギリスの花火は、Bonfire Nightの２、３週間前からしか一般に販売されず、今でも人気がありますが、花火の危険性に対する安全意識が高まったため、近年では花火大会に参加する形に変わりました。自分で焚き火をする人は、ジャック・ポテトをホイルに包んで焚き火の中に入れて焼くことが多いようです。

▲bonfire

▲fireworks

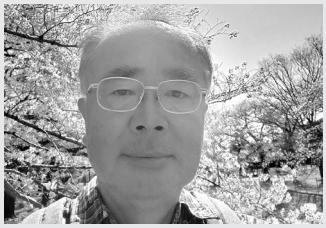
▲Houses of parliament

江府町 地域おこし協力隊 通信

今月号は９名の江府町地域おこし協力隊員のうち、４名の活動を紹介します。いよいよ季節も冬を迎え、はじめて体験する江府町の冬にワクワク、ドキドキする隊員の姿も。気になるところ、ぜひご覧ください。

今月号のテーマ
「次へ活かす」

農業部門（活動内容：農事組合法人宮市での商品開発など）



西嶋（にしじま） 俊明（としあき）

１１月４日（木）、江府町御机の農家さんの畑に大事に育ててきたカモミールの苗を定植しました。半ば諦めてましたが、カモミール栽培を継承してくれる方が出てきたことを大変嬉しく思います。

標高６００メートルを超える黒土の大地で、来春素晴らしい花が見られることが楽しみです。

▲定植したカモミール

ふるさと教育（活動内容：日野郡公設塾まなびや「縁側」での塾講師）

阿部（あべ） 将樹（まさき）

１０月はイベント盛りだくさんの月でした。地域の方をゲスト講師としてお招きしてその方の人生についてお話を伺う「MY FUTURE」を３回実施。江府町からは奥大山Youtuber の小林大二さん、尚仁福祉会の祇園崇広さんにお越しいただきました。波瀾万丈な人生を送ってきたゲストの話に、生徒は興味津々でした。今後も地域の方と高校生との接点を作り、日野郡・江府町の魅力を伝えていきたいと思います！

▲「MY FUTURE」の様子

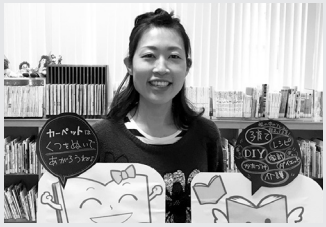
広報支援（活動内容：奥大山ユーチューバーとして動画制作など）

小林（こばやし） 大二（だいじ）

今月は「日野郡公設塾 まなびや縁側」にて映像の分野で働く社会人として外部講師、その翌日に日野高校で動画編集ソフトの外部講師として、日野高校生達の前で話しをする機会がありました。高校生達に自分自身の考えや身に着けた事を分かりやすく伝えるためにはどうするか、話す内容を組み立てていく事で自分を振り返る機会にもなりました。高校生達の前で話す貴重な経験を得られたので、この経験も今後に活かしていきたいです。

▲動画について語りました

図書館支援（活動内容：コミュニティ図書館に移行するための支援、司書業務）



森本（もりもと） 久美（くみ）

１０月３０日～１１月７日に図書館まつりを行いました。私は、本のリサイクルを担当しました。保管期限が切れた雑誌や、古くなり利用価値が薄れた本などをお持ち帰りいただくイベントです。たくさんの方に持って帰っていただきました。町民のみなさんの大切な本を有効活用できてよかったなと、安心しております。飾りつけも頑張りました！

▲図書館まつりの様子

農地パトロールを実施しました
ー適切な農地の管理を心がけましょうー

農業委員会では、耕作放棄地等の発生を防止するため、農地パトロール（利用状況調査）を実施しました。ご協力ありがとうございました。

調査内容

①農地利用の確認

②遊休農地の実態把握

③違反転用の発生防止・早期発見

▲農地パトロールの状況

農地利用意向調査にご協力を

農業委員会では、農地の利用増進を図るため、農地所有者の方に、農地利用の予定や今後の経営方針などをお聞きする農地利用意向調査を実施します。農業委員・農地利用最適化推進委員が、個別訪問などを行う場合があります。

ご理解とご協力をお願いします。

12月の農地相談会

売買、相続、転用など農地に関することは、お気軽に相談ください。

◎ 相談日　令和3年12月19日（日）午後1時30分から3時30分

◎ 場　所　江府町防災・情報センター1階自主防災室

※マスク着用でお越しください。

※事前申し込みをお願いします。また、事前に相談内容をお知らせください。
（相談が円滑・詳細に行えます。）

お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局にお問い合わせください。

農業委員会総会のご報告
＜令和3年11月10日（水）開催＞

以下の審議案件はすべて承認されました

農用地利用集積計画（案）について	3件
農地法第3条の規定による許可申請について	1件
農業振興地域整備計画の変更に係る意見具申について	1件

農業委員会臨時総会のご報告
＜令和3年11月25日（木）開催＞

以下の審議案件はすべて承認されました

農業振興地域整備計画の変更に係る意見具申について　1件

【問い合わせ】江府町農業委員会事務局　電話：０８５９－７５－６６２０

歯科衛生士再チャレンジ研修会（復職支援セミナー）

歯科衛生士の免許はあるものの、しばらく離れていて再び歯科衛生士の仕事で活躍したい方を鳥取県西部歯科医師会が応援する研修会です。復職希望があり迷っておられる方お気軽にご参加ください。

▶日時
12月19日（日）午前9時～正午

▶場所
鳥取県西部歯科医師会会館

▶対象
歯科衛生士免許をお持ちの方

▶参加費
無料

▶申込期間
12月15日（水）まで

▶申込方法
下記記載の申込先へ電話、FAXまたは Web からお申込みください。申し込み QR コードからアクセスすることもできます。

▶その他
ZOOM 視聴での参加も可能です。また、研修会後、希望者にハローワークの無料相談もあります。（※会館での参加者のみ）

【申込先・問い合わせ】
鳥取県西部歯科医師会
電話：0859－33－3864
FAX：0859－33－3925
メール
oy8020sd@sanmedia.or.jp
トリシカホームページ
https://tottori-shika.com/

トリシカ HP QR コード　申し込み QR コード

鳥取県西部広域行政管理組合からのお知らせ ～各種手続の押印が不要となりました～

鳥取県西部広域行政管理組合の各種手続について、住民や事業者のみなさまの利便性向上のため、提出する申請書等への押印を令和3年12月1日から省略することができるようになりました。

▶押印の義務付けを廃止した主な手続き［申請書等の名称］

・一般家庭のごみをリサイクルプラザへ搬入するとき
処理対象ごみ搬入許可申請書※
※運転免許証等の確認を行います。

・発電設備・変電設備・蓄電池設備などを設置したとき
急速充電設備・燃料電池発電設備・発電設備・変電設備・蓄電池設備設置届出書

・防火対象物（飲食店、共同住宅、事務所など）の使用を開始するとき
防火対象物使用開始届出書

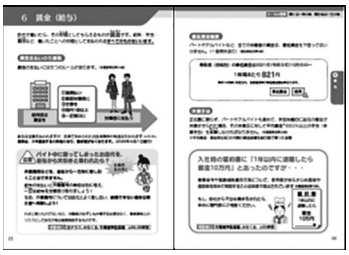
その他の押印を廃止する申請書等については、組合ホームページで確認できます。

【問い合わせ・申込先】
鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課
電話：0859－72－7722
リサイクルプラザに関すること
リサイクルプラザ
電話：0859－68－4071
消防に関すること
消防局
電話：0859－35－1951
組合ホームページ
右記のQRコードをスマートフォンなどで読み取ることでアクセスすることができます。

「お知らせ」「イベント」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

江府町役場
電話：0859-75-2211（代表）
〒689-4401 江府町大字江尾1717-1

「THE社会人～働く人のルールブック～」（無料配布中）



働くときに知っておきたい法律知識、ハラスメント防止や社会保険制度、相談窓口などをまとめた「THE 社会人～働く人のルールブック～」が令和3年11月に改訂されました（A5判、P74）。

▶費用
無料配布中

▶その他
みなくるでは、働くときの疑問や困りごとにも相談受付中
（例）「社会保険のことが聞いてみたい」、「有休について教えてほしい」など

【問い合わせ】
労働相談所みなくる
電話：0120－662－396
（月～金、毎月第1土曜の午前9時～午後5時30分）

第４７回江府町人権・同和教育研究集会兼江府中ＰＴＡ人権講演会

11月13日(土)に第47回江府町人権・同和教育研究集会兼江府中ＰＴＡ人権講演会を開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、2会場で実施し、町内在住の方、町内にお勤めの方のみの参加とするなど、感染対策をとりながらの開催となりました。

第１部は、主催者として白石町長より、「同和問題をはじめ様々な人権問題について、このような研究集会等を継続していくことが必要である」ことが伝えられ、来賓の大森英一さんからは、「間違いを教える勇気を培ってほしい」と参加者へ強い思いを伝えるあいさつをいただきました。

その後、基調提案によって人権意識の共通認識を図り、感染対策のため表彰式や本人による発表は行いませんでしたが、「人権・同和問題」啓発標語・作文の優秀作品を発表し、講演へつなげました。

第２部では、はじめに鳥取県聴覚障害者協会理事長下垣彰則さんから「本日上映する映画『咲(え)む』は、2年前に江府町もロケ地として撮影が行われました。様々な人がいる中で共生社会に向けて一緒に歩んでいきましょう」という思いを伝えられました。その後、全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲(え)む」が上映されました。

映画では、聴覚障害のある主人公が聞こえないことで看護師として働く場が与えられず、やっと父親の故郷の村で働くことが出来ました。

しかし、そこでも様々な困難がありそれを乗り越えようと前向きに頑張る姿が描かれていました。

映画は、主人公が周りの人たちに変化をもたらしましたが、周りの人も自分で考え、気づく力をつけることが必要だと考えさせられる内容でした。

▲映画「咲(え)む」上映の様子

第２５回「人権・同和問題」啓発 標語・作文受賞者

★作文の部【江府中学校】

【最優秀賞】
3年　山岡 愛さん

【優秀賞】
1年　吉田 紗彩さん
2年　清水 悠輝さん

★標語の部【江府小学校】

【最優秀賞】
5年　宍戸 虹介さん

【優秀賞】
1年　土居 星梨菜さん
2年　川端 美楽さん
3年　高津 じゅん平さん
4年　篠村 実和さん
6年　篠村 瞬生さん

【参加者の感想】

○泣けた。
○とても心に響いた。多くの人に観てもらい心の深まりを広めていきたい。
○命の大切さを改めて感じた。
○主人公の前向きな姿に励まされた。障がいがあってもみんな同じ人間で助け合い、生きていくことが大事だと思う。

▲手話であいさつをされる下垣理事長

江府町子育て世代包括支援センター「おひさま」

江府町子育て世代包括支援センター「おひさま」では、子育て機関の情報や支援を切れ目なくつなぎ、一貫したサービスの提供を目指しています。

離乳食教室を開催しました！

１１月の毎週木曜日、月齢ごとに分けて離乳食教室を実施しました。参加された方からは「先輩ママさんからの体験談を聞く良い機会になりました。」「基準が分かって良かった。」「作り方がよく分かった。家でも作ってみます。」などのお声をいただきました！

離乳食にお困りの方や幼児食に悩んでいる方、一緒に作ってみたい方のお力になれたらと思います。いつでもご相談ください。

第２回目の参加者のみなさん

モグモグ　ふむふむ

ゴリゴリ
すりつぶし中

【初期】
５か月～６か月
（10倍がゆ、じゃがいも、白身魚、小松菜）

【中期】
７か月～８か月
（７倍がゆ、じゃがいも・ブロッコリー煮、鶏かぼちゃのとろとろ）

妊娠・出産・子育てに関することについて、
いつでもお気軽にご相談ください。
【問い合わせ】
江府町子育て世代包括支援センター「おひさま」
（江府町役場福祉保健課内）
電話：０８５９－７５－６１１１

気をつけよう 消費者トラブル

補聴器の購入は慎重に！

相談事例

眼鏡店で聴力検査を受けたところ、「早めに補聴器をつけたほうがいい」と言われ、勧められた補聴器を40万円で購入した。しかし、後日病院でその話をすると、医者には「補聴器は必要ない」と言われた。購入をキャンセルしたいが、断られて困っている。（60歳代　女性）

アドバイス

- 補聴器は医療機器です。購入する前に、自分の「聞こえ」の状態や補聴器の必要性について、専門医の診断を受けましょう。
- 購入後も「聞こえ」の調整や定期的な手入れが必要です。専門的なメンテナンス体制の整った販売店で購入しましょう。
- 「聞こえ」が不十分な高齢者は、販売員との会話が難しい場合があります。購入時には、家族など周りの人がサポートしましょう。
- 通信販売を利用する際は、購入後のお試し期間の有無、返品条件などをしっかり確認しましょう。

（国民生活センター「見守り新鮮情報」より）

○消費生活相談員による相談窓口
令和4年1月5日(水)、26日（水）午前9時～午後4時
江府町役場本庁舎1階相談室にて開催
※日野郡3町は、毎週水曜日に輪番で相談員が対応しています。他役場の相談室もご利用ください。

○通常の相談窓口
平日：江府町役場住民課（電話：0859-75-3223）
土日：鳥取県消費生活センター（電話：0859-34-2648）※祝日、年末年始除く

獣害対策アップデート

第6回 冬のいそうろう

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野　風花
【問い合わせ】0859-72-1399

秋が足早に去って、家の暖かさが恋しい季節になりました。そこで今回は、寒くなってくると家にこっそり居つく、テンについてお話ししたいと思います。

テンは比較的小さな動物で、成獣の体重は平均1．5kg程度です。冬になると、顔が白く体は黄色っぽい冬毛になります。

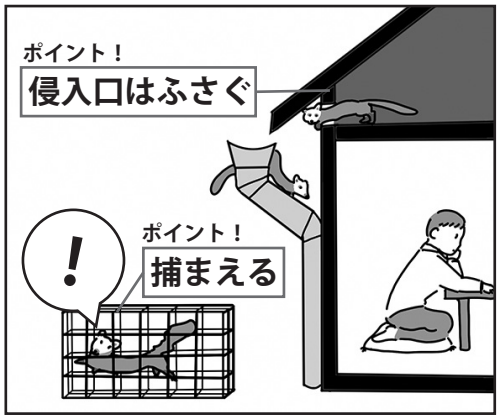
人家における「いそうろう」場所は屋根裏や床下で、通気口や屋根の隙間から侵入するケースが多いです。

イタチ属の中でも特に木のぼりが得意で、垂直な雨どいなども簡単に登ってしまいます。さらに厄介なことに、彼らは狭い場所もするするっと通り抜けてしまいます。実験によると、5cm角の正方形の穴であれば、抜けられるようです。身近なもので考えるなら、親指の長さが約5cmですので、一辺の長さが親指以上の長さの穴は侵入要注意場所です！

そもそもどうして家に入ってくるのでしょうか？それは、彼らの生活スタイルに理由があります。

彼らはエサ資源に合わせて、樹洞や岩のスキマ、倒木の下など転々と休息する場所を変えて生活しています。冬場でも人里には家庭菜園や果樹、生ごみなどエサとなるものがたくさんあります。食べ物が近くにあるし、寒さもしのげて丁度いいわぁ～と家に侵入してしまうのです。彼らには良くっても人にとっては鳴き声や走り回る音など、騒音に悩まされます。

対策として出来る限り、家や倉庫など建物にある穴はふさぎ、侵入されないようにしておくことが重要です。また、侵入されてしまった場合でも、食べ物を探しに外に出た時を狙って、捕獲するという方法もありますので、一度ご相談ください。



―食生活改善推進協議会主催―
男の料理教室参加者募集！！

男性のみなさん、簡単な料理を学んでみませんか？
江府町食生活改善推進協議会のみなさんが基本から指導いたします。
食べることが好きな方、新しいことに挑戦したい方など、みなさんの応募をお待ちしています。

【日　時】令和４年１月２２日（土）　午前１０時～
【ところ】江府町総合健康福祉センター２階　調理室
【内　容】「簡単！！和定食！」
【持ち物】５００円（食材費）、米１合、エプロン（貸出あり）
【定　員】８人程度
【締切日】令和４年１月１４日（金）

【申し込み先・問い合わせ】
江府町役場福祉保健課（担当：村上）　電話：０８５９－７５－６１１１

口座振替のお願いについて

現金納付の江府町の税金は全て、口座振替に変更をすることができます。口座振替は納付の手間がなく、納付忘れを防ぐこともできます。ぜひ、口座振替をご利用ください。口座振替の申し込みは、ご本人様が直接、金融機関窓口にてお願いします。口座振替ができる金融機関は、**山陰合同銀行・鳥取西部農協・鳥取銀行・ゆうちょ銀行**ですので、お早めのお手続きをお願いします。ご不明な点がありましたら、役場住民課にご相談ください。

今月の国民年金

納付期限　12月分　令和4年1月31日（月）まで

令和３年度の国民年金保険料

令和３年4月から令和４年3月までの国民年金保険料は、月額16,610円です。保険料は日本年金機構から送られる納付書により、金融機関や郵便局、コンビニで納めることができるほか、口座振替やクレジットカードによる納付なども可能です。保険料は納付期限（翌月末）までに納めましょう！

【問い合わせ】江府町役場住民課　電話：0859－75－3223
米子年金事務所　電話：0859－34－6111

今月の税金

・町県民税（4期）　・後期高齢者医療保険料（6期）
・国民健康保険税（7期）　・介護保険料（7期）
納付期限および口座振替は令和3年12月27日（月）です。

人の動き

11月末までの届け（敬称略）

◎ご結婚を祝します

藤原　浩昭　）尾之上原
柏平　真岐　）米子市

◎お誕生おめでとう

（住所）	（氏名）	（性別）	（保護者）
本町一	横田　弦生（よこた　けんせい）	男	真生

◎ごめい福を祈ります

（住所）	（氏名）	（年齢）	（世帯主）
大河原	安田　利憲	84歳	和博
本町二	手島　陽子	81歳	征夫
宮市	河上　貞也	80歳	順子
小原	谷口　武利	87歳	照文
下安井	松原　丈夫	76歳	サエ子
杉谷	末次　伊都女	96歳	本人
小江尾	宇田川　千鶴枝	92歳	義明

ご寄付

社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。
11月末までの届け（敬称略）

◎香典返しとして

池の内　加藤　公弘　姉　弘江死去
境港市　清水　克昭　母　茂子（大河原）死去
下安井　松原　サエ子　夫　丈夫死去
宮市　河上　定弘　父　貞也死去
大河原　安田　和博　父　利憲死去

■まちの人口　2,695　人（+1）
男　1,259　人（-2）
女　1,436　人（+3）
■世帯数　1,015　世帯　（+3）
令和3年11月30日現在（　　）は前月比

応援ありがとうございます！

ふるさと納税

令和3年11月30日現在

延申込件数　8,520件
（前月比＋2,441件）

延寄付金額　172,742,000円
（前月比＋5,682.4万円）

12月

防＝防災情報センター 福＝総合健康福祉センター 役＝江府町役場本庁舎 本5＝本町5丁目集会所 せ＝せせらぎ公園
創＝高齢者創作館

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
13 カラオケ同好会 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 油絵教室 防 午後1時30分～3時30分 大河原線	14 パッチワーク同好会 防 午前9時～11時30分 ピアノ教室 役 午後4時30分～5時 アイリス合唱団 防 午後7時～8時30分 下蚊屋線	15 ピアノ教室 防 午後3時30分～6時 書道教室 本5 (広域隣保活動) 午後4時～5時 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 御机線	16 折り紙教室 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 和紙折紙講座 役 午後1時30分～3時30分 俣野線	17 お茶会2 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 フラダンス講座 防 午後2時～3時30分 ピアノ教室 防 午後4時～6時 柿原線 下安井線	18	19 ピアノ教室 役 午前9時～午後1時 江府町立図書館 防 ものづくりクラブ 午前10時30分～ （参加要予約） 問 江府町立図書館 電話：0859-75-2005
20 絵手紙・墨彩画教室 防 午後1時30分～3時30分 人権・同和教育講座 役 たんぽぽ学級 第4回 【昼の部】 午後1時30分～2時30分 【夜の部】 午後7時～8時 ※詳細は、配布しているチラシをご覧ください。 大河原線	21 江府町囲碁同好会 防 午前10時～午後4時 ピアノ教室 役 午後4時30分～5時 下蚊屋線	22 ピアノ教室 防 午後3時30分～6時 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 手踊りクラブ 役 午後7時～9時 御机線	23 図書館休館日 明徳学園開校日 元気クラブ 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 陶芸教室 創 午後1時～4時 書道教室 防 午後1時30分～3時 俣野線	24 江府中学校終業式 江府小学校終業式 ピアノ教室 防 午後4時～6時 柿原線 下安井線	25 和紙折紙講座 役 午後1時30分～3時30分	26 ピアノ教室 役 午前9時～午後1時
27 大河原線	28 下蚊屋線	29 御机線	30 俣野線	31 大晦日		

年末年始の閉庁・休館・休業について

施設名	12/28（火）	12/29（水）	12/30（木）	12/31（金）	1/1（土）	1/2（日）	1/3（月）	1/4（火）
江府町役場、防災・情報センター、総合健康福祉センター、教育委員会、子供の国保育園、江府町社会福祉協議会、くぬぎの森、リサイクルプラザ、いづはら		閉庁・休館	休園・休業			閉庁・休館	休園・休業	
町立図書館	15:00 まで	休館					休館	
江尾診療所	午前まで	休診					休診	

【その他】江府町運動公園（12/29 ～ 1/5 休館）、桜の苑（1/1,2 休業）、町営交通【バス・タクシー】(12/31 ～ 1/3 休業)
※年末年始のごみ収集は、分別カレンダーをご覧ください。　※役場では、閉庁時でも戸籍に関する届出（死亡届、婚姻届等）を受理します。

1月

防＝防災情報センター 福＝総合健康福祉センター 役＝江府町役場本庁舎 本5＝本町5丁目集会所 せ＝せせらぎ公園

月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat	日 Sun
	令和４年 **第４５回新春マラソン大会** 【期日】令和４年１月３日（月） 午前９時30分開会（受付：午前９時） 【場所】江尾駅（受付） 江尾駅前（スタート・ゴール）	【申込締切】令和３年12月17日（金） 申込書は防災・情報センターに設置してあります。また、町ホームページからもダウンロードできます。必要事項を記入の上、事務局へ持参もしくはＦＡＸにて申込みください。	新型コロナウイルス対策のため、必ずマスクの着用をお願いします。 【問い合わせ】 江府町教育委員会事務局 電話：０８５９－７５－２２２３ ＦＡＸ：０８５９－７５－３４１１		1 元旦	2
3 新春マラソン大会 受付：午前9時 開始：9時30分～ （上記参照）	4 江府町囲碁同好会 防 午前10時～午後4時 下蚊屋線	5 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 奥大山カフェ 役 午後7時～9時 御机線	6 江府中学校始業式 俣野線	7 江府小学校始業式 フラダンス講座 福 午後2時～3時30分 お茶会 本5 （広域隣保活動） 午後2時～4時 ピアノ教室 防 午後4時～6時 柿原線 下安井線	8	9 ピアノ教室 防 午前9時～午後1時 江府町立図書館 防 おはなし会 午前10時30分～ （参加要予約） 問 江府町立図書館 電話：0859-75-2005 成人式式典 時間：午後2時～ 【場所】役場本庁舎 【問】江府町教育委員会 電話：75-2223
10 江府町囲碁同好会 防 午前10時～午後4時	11 パッチワーク同好会 防 午前9時～11時30分 囲碁同好会 本5 （広域隣保活動） 午後1時～5時 ピアノ教室 防 午後4時30分～5時 下蚊屋線	12 人権・行政相談 午前9時～正午 江府町防災・情報センター 電話：75-3110（開設時のみ） ピアノ教室 防 午後3時30分～6時 ストリートダンス 役 午後6時30分～8時 手踊りクラブ 役 午後7時～9時 御机線	13 料理教室 本5 （広域隣保活動） 午前10時～正午 俣野線	14 ピアノ教室 防 午後4時～6時 いけばな教室 防 午後7時～8時 柿原線 下安井線	15	16 ピアノ教室 防 午前9時～午後1時

12 月 13 日から翌年 1 月 16 日の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、従来のイベント等が中止や延期になる場合があります。詳しくは町のホームページをご覧いただくか、イベント等の主催者へお問い合わせください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

町報こうふ

奥大山の水洗い珈琲で本格的なコーヒー牛乳作りに挑戦

11/17

江府小学校６年生が１１月１７日（水）、旧米沢小学校内にある奥大山の水洗い珈琲合同会社で校外学習を行いました。総合的な学習の一環として、水洗い珈琲を生産されている遠藤明宏代表へ仕事についてインタビューをし、本格的なコーヒー牛乳作りにも挑戦。遠藤代表から道具の説明やコーヒーの淹れ方の説明を受けると、挽きたてのコーヒー豆の粉をドリッパーに入れ、お湯を注ぎコーヒーを抽出。最後に、大山乳業農業協同組合の看板商品「白バラ牛乳」を加えて完成。コーヒーアロマと最高のコーヒー牛乳にいやされた子どもたちでした。

▲遠藤代表の指導を受けながらお湯を注ぐ児童の様子

11/21

環境教育プログラム体験イベント「富良野自然塾in奥大山」

▲歓迎の挨拶を述べる林原副塾長

▲岸上さんから説明を聞く参加者の様子

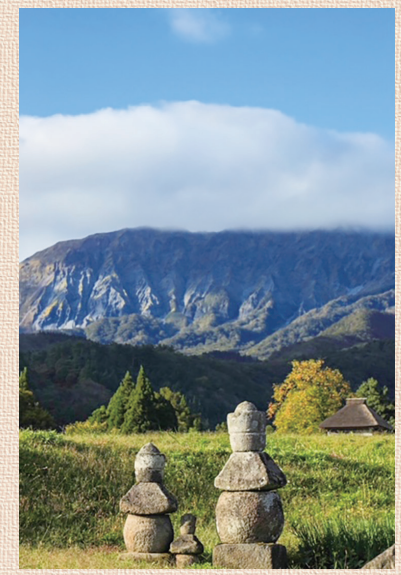
脚本家の倉本聰さんが主宰する「ＮＰＯ法人富良野自然塾」（北海道富良野市）と連携した環境プログラムの体験イベントが１１月２１日（日）、休暇村奥大山で行われ、地元小学生から大人まで幅広い年代が参加しました。

はじめに、倉本氏と同塾を立ち上げた林原博光副塾長（伯耆町出身）から「江府町の新たな環境教育の拠点となるように協力していきたい」と挨拶が述べられると、白石町長は「富良野自然塾のサテライト校となるように、運営組織を構築していきたい」と展望を述べました。

そして、参加者は湿原へと移動。同塾インストラクターの岸上夏樹さんから説明を受けながら、４６億年の地球の歩みを４６０メートルに置き換えたコースを歩いて、地球誕生から現在までの歴史を学んでいきました。最終地点では、２センチほどの歴史しかない人類が、「子孫からの借り物」である地球環境を破壊しつつあることを熱く伝えました。

このほか、電動車グリーンスローモビリティの試乗や、ソフトバンクのロボット「Pepper（ペッパー）」を使った環境教育の体験も行われました。

今月の #kofupics



【タイトル】
「仰ぐ」
【投稿者】
flower.flower.507 さん
【撮影場所】
江府町御机付近

＼投稿写真募集中／
このコーナーでは、インスタグラムにハッシュタグ「#kofupics」をつけて投稿された写真を紹介しています。
みなさまからの、とびっきりな「#kofupics」な写真をお待ちしています！！

今月号でご紹介する写真は、江府町御机付近で撮影された一枚。投稿者のflower.flower.507 さんからは以下のコメントをいただきました。「雄大な大山を仰ぐように、ひっそりとたたずむ石仏。のどかな田園風景に包まれて暮らす里山の人々を、そっと見守ってくださっているかのようです。四季折々に訪ねて、大山を仰ぎながら深呼吸したくなる、日本の原風景がそこにありました。」

COVER －表紙の写真－

江府小学校２年生が１１月２４日（水）、一旦の宇田川保さんのみかん畑でみかん狩りに挑戦しました。生活科の授業の一環として行われ、児童のみなさんはみかんをハサミで一つひとつ丁寧に収穫。寒冷地である江府町ではみかんの栽培は難しいとされるなか、宇田川さんは四国から直接苗木を取り寄せ、数年かけて無農薬でおいしいみかんに育てられてきました。児童のみなさんは収穫したみかんをおいしくいただきました。

「町報こうふ」は 2019 年 4 月号から紙面内容充実のため、穴開けを廃止しました。お手数ですが綴る際は、裏表紙の「○」および「▼」マークを目印にパンチ等で穴を開けていただきますようお願いします。

発行／江府町役場　〒689-4401 鳥取県日野郡江府町大字江尾1717番地1　TEL (0859) 75-2211　FAX (0859) 75-2389　URL：https://www.town-kofu.jp
編集／総務課　印刷／冨士印刷(有)

町報こうふの最新号やバックナンバーは江府町ホームページで！

江府町